



むさしむらやま



編集・発行 / 武蔵村山市教育委員会 〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1 TEL 042-565-1111 ◆問合せ先◆教育総務課 市役所内線424

脱炭素

まちづくり カレτζジ

第三中学校

第三中学校では昨年度より、まちづくり学習として「ゼロカーボン」について研究してきました。10月1日には、(株)JTBの協力の下、第三学年を対象に「脱炭素まちづくりカレτζジ」という特別授業を行いました。カードゲームを活用した楽しい学びを通じ、「脱炭素」へ向けた取組をジブンゴト化して考える様子が見られました。振り返りの時間では、「自分は今日からこんなことを意識して過ごす」というたくさんの前向きな意見が出て、ゼロカーボンシティへ向け一歩前進しました。

まだ間に合う

小児インフルエンザ 予防接種費用助成



期間：1月31日(金)まで
 対象：生後6か月以上13歳未満
 回数：期間内に1人2回まで
 助成費用：2,000円 ※
 持ち物：健康保険証、母子健康手帳
 接種医療機関：市内のみ(詳しくは市ホームページをご覧ください)

※各医療機関が定めた接種費用から、1回あたり2,000円を差し引いた金額を医療機関窓口でお支払いください。

HP 1020578



保健相談センター ☎ 042-565-9315

感謝状を贈呈しました



11月5日(火)、不要になった中学校制服を必要とする家庭へ引き継いでいく「制服バンク」の取組に、クリーニングやクーポン配布によりご支援いただいた市内支援企業の皆様に感謝状を贈呈しました。

右より、株式会社天乃屋様、株式会社武蔵プライダグズ様、教育長、株式会社文明堂東京様、イオンモール株式会社イオンモールむさし村山様

新年のご挨拶

武蔵村山市教育長 池谷 光二



新年あけましておめでとうございませう。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

作家の田辺聖子さんは、生前、ある取材に「社会がおかしくなった原因、それはいい加減な大人がふえてしまうたからや」と話していました。

子供を育てるといふことは、私たち大人にとって最も大事な仕事です。社会全体が、家庭や社会、その他の場所も「もう一つの学校だ」ということを忘れてはいけないと思います。

以前、テレビの番組の中で、俳優の哀川翔さんが、子育てをする中で大切にしていた言葉が「ごみをまたぐな」だということとを話していました。私の心の中に深く残りました。

「ゴミを拾ってキレイにしましょう」というだけではなく、ゴミが落ちているのを認知しているのに、それに対処していな

いことがよくないということです。

要するに、「ゴミを見かけたから素通りするな、拾いなさい」ということなのです。自分の落とし物ではないからという気持ちで、下に落ちてくるゴミを拾わずに通過してしまう、日常生活の中ではありがちな光景かもしれません。

「ごみをまたがない」、私たち大人が、社会という「もう一つの学校」で、子供たちには是非教えなくてはならない大切なことだと考えています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

教育委員に杉原栄子氏が再任

10月1日付で杉原栄子氏が教育委員に再任されました。なお、教育委員会の構成は次のとおりです。

職名	氏名	任期
教育長	池谷 光二	自 令和6年4月1日 至 令和9年3月31日
教育長職務代理者	大野 順布	自 令和6年1月1日 至 令和9年12月31日
教育委員	杉原 栄子	自 令和6年10月1日 至 令和10年9月30日
教育委員	比留間雅和	自 令和3年10月1日 至 令和7年9月30日
教育委員	潮 美和	自 令和4年10月1日 至 令和8年9月30日

教育長職務代理者 大野 順布



新春のお慶びを申し上げます。本市では、小中学生を対象に「まちづくり学習」を進めています。武蔵村山市のことを知り、将来のまちづくりを考え展望することで、郷土愛を育むことを目的としています。

市内をモノレールが走るころ、いまの子供たちが武蔵村山愛を胸に社会で活躍している姿に思いを馳せ、本年も教育環境の充実に努めてまいります。

教育委員 杉原 栄子



新春のお慶びを申し上げます。子供の頃に抱いた夢は、完全にそのとおりではなくても実現していくように思います。今はまだ漠然とした願いや夢であっても、大切に育てて欲しいと思います。子供時代のつまずきや成功・失敗などの体験は、新たな気付きや自信を与え、貴重な糧となります。

未来を担う子供たちが夢をもって学び続ける一年となりますよう地域の皆様と共に見守ってまいります。

武蔵村山市の子供たちのために ~教育委員の抱負~

教育委員 比留間 雅和



新年のお慶びを申し上げます。昨年、学校訪問をさせていただいた時のことです。各校の先生方は子供たちの成長のために様々な工夫と努力をし、子供たちは落ち着いた雰囲気の中で真剣に学習に取り組んでおりました。

その姿を見て、私自身が大人として子供たちの手本となるよう、日々を過ごさなければならぬと、改めて肝に銘じたところであります。

教育委員 潮 美和



新春のお慶びを申し上げます。本市の小・中学校では昨年より「まちづくり学習」として様々な取り組みを行っており、今年度は市長への報告をはじめ、市内外でPR活動などに励んでいます。そんな子供たちの頑張りを多くの方々知っていただけるよう、先生方、地域の方の声を聞きながら本年も教育活動を見守っていく所存です。

（この欄は上記の委員の抱負をまとめたもので、重複する部分があります）

きらめけ

煌 ミロディ ~未来へつなぐ最高の音色~

大南学園第四中学校

10月24日(木) 市民会館(さくらホール) 大ホールにて、合唱コンクールを開催しました。

当日は、各学年、各クラスの生徒の力強い元気な歌声の合唱発表と、今年は第七小学校6年生の素晴らしい歌と演奏、本校有志生徒による合唱、本校吹奏楽部演奏の披露があり、行事を彩りました。

実行委員の生徒の頑張りもあり、大成功ならぬ「大成響」のコンクールとなりました。



一歌人魂
「全員の声を一つに」

9年生の合唱の様子

成功に向けて頑張った実行委員

村山学園

10月26日(土)、小学部6年生から中学部9年生、S組、E組が合唱(S組は合奏)を発表しました。一学期から実行委員会を立ち上げ、委員が中心となって取り組み、当日は、司会・進行の全てを実行委員がこなし、大成功となりました。

スローガンのとおり、全員の声があつになった素晴らしい合唱コンクールでした。



NO MUSIC NO LIFE

みんなの音楽会

五中校区学校運営協議会

五中校区恒例の「みんなの音楽会」は、五中校区学運協が主催し、コロナ禍の中断はあったものの、毎年行っている行事です。

二小
プラスバンド部



十小
吹奏楽クラブ



都立武蔵村山高校
吹奏楽部



八小
バトクラブ



五中
吹奏楽部



武蔵村山ウインド
アンサンブル



11月2日(土)、二小プラスバンド部、八小バトクラブ、十小吹奏楽クラブ、五中吹奏楽部に加え、都立武蔵村山高校吹奏楽部、武蔵村山ウインドアンサンブルの皆さんにもご参加いただき、演技、演奏をみんなで楽しみました。ご来賓の方々、保護者、地域の皆様をはじめ、たくさんの方でいっぱいになった体育館に素敵な音楽が響き渡りました。

の取組を紹介します

設隣接型、施設分離型による

ている全国でも稀有な特長をもっています。

な高め合いのもと、教育活動が展開されています。

づくりの取組を紹介します。

第一中学校 校長 島田 治

「学校2020レガシー」の構築及び体力向上の推進を目標の一つに掲げています。地域と連携してプロからダンスを学ぶ機会を設けています。

校内発表会に留まらず、有志の生徒がむさむらさくらまつりに出演するなど学習したことを様々な場面で生かしています。



第十小学校 校長 今井 一馬

本校は、1コマ40分、午前中5時間授業の枠組みの中で、「個別の時間」を軸に、「自立した学び」の充実に取り組んでいます。個別の時間では、得意なこと、苦手なこと、興味があることなどを中心に、自分で学びの計画を立てながら進めています。生き生きと学ぶ姿がどんどん広がっています。



第三中学校 校長 飯星 健司

三中校区では「ふれあいフェスティバル」として、地域の方々を講師として招き、様々な講座を開催しています。小・中学生が一緒になって学び、交流を深める機会となっています。



子どもたちは楽しみながらも講師のお話に集中して耳を傾け、取り組んでいました。

雷塚小学校 校長 高瀬 隆太郎

「全校道徳の日」を設定し、道徳価値について学校や家庭で深く考える機会としています。

また、校内研究では、「まちづくり学習」に取り組んでいます。保護者や地域の方と、連携協力し、探究的な学習を通して地域を知り、地域を大切にする思いを育んでいます。



第五中学校 校長 榎戸 千代子

本校では今年度、来年度の研究指定を受けて、「生命尊重と思いやりの心をもった生徒の育成」をテーマに様々な研究に取り組んでいます。

7月10日(水)には、3年生を対象に「生命尊重」に関する特別の教科 道徳の研究授業を行い、命の大切さについて深く考えることができました。



大南学園第七小学校 校長 川口 周作

伝統的に「食」に力を入れてきた第七小学校では、「食」をテーマにまちづくり学習に取り組んでいます。地域で「食」に関わる方々の話を聞いたり、実際に見て体験をしたりしています。今後は、オリジナルブランドの提案やPRポスターの作成などを通して、武蔵村山の「食」盛り上げていきます。



大南学園第四中学校 校長 福泉 宏介

本校では、「生徒が創る行事」として、学校行事に生徒の実行委員会を組織して取り組んでいます。10月の合唱コンクールにおいても、実行委員が話し合いを重ねながら運営を取り仕切り、クラスや学年をまとめ、誰もが達成感を得られるよう、しっかりと活動しています。



第一小学校 校長 押本 純樹

開校110周年を迎え、バルーンリリース、運動会、地区祭り、音楽会、式典ではキャラクター“がっちゃん”と一緒に行事を盛り上げています。まちづくり学習では、地域のごみ拾い、より安全で楽しい公園づくり、



村山デエダラまつりでのヤギの広報（ヤギTシャツ販売）、防災に強い武蔵村山など、児童が主体的に課題を見付け、市役所や地域の方のお力を借りながら進めています。武蔵村山も一も好きな児童です。

特色ある学校づくり

市立学校では、施設一体型、施
いわゆる小中一貫教育の3つの型を展開し
各校区がそれぞれの長を生かし、強い連携と豊か
今年度各校が行った特色ある学校

第二小学校 校長 井口 洋

総合的な学習の時間の中で、まちづくり学習を進めています。地域の皆様のご協力のもと、みかん農園見学、村山大島紬体験、水田学習等に取り組み、地域に伝わる伝統・文化のよさを



児童自らが気付き、発信していく学習を進めています。今年度は新たに村山うどんの会の方にご協力いただき、うどん作りに挑戦しました。

第八小学校 校長 牧 一彦

本校では教育課程特例校として、「徳育科」を実施しています。これは、道徳科の時間数を拡大し、礼法を加えた本校独自の教科です。

10月14日（土）には、徳育科地区公開講座を行いました。武蔵村山市教育委員会教育長 池谷光二様を講師にお迎えし、徳育科としての心の学びを深めました。



第三小学校 校長 佐々木 琢

昨年度に引き続き、「ゼロカーボンチャレンジ校」として、様々な取組をしています。

6年生は、国立環境研究所や、市の環境課ゼロカーボン推進係に協力をいただき、地球



の今と未来を学んでいます。今後、お笑いや歌、プレゼンをして発信する計画をしています。

第九小学校 校長 吉成 かおる

市の特色ある学校づくり推進校に指定され、地域の材を生かした生活科・総合的な学習の時間に取り組んできました。1年生は、見付けた虫などを飼い、観察を通して虫の様子に関心を



もちました。その中で、生命の大切さに気付きました。4年生は、社会福祉協議会の協力を得て高齢者体験をしました。

村山学園 統括校長 井内 潔

3年生から9年生までの児童・生徒が地区班に分かれて10月1日に「地域清掃」を行いました。班長が地区班の中心となり、下校しながら通学路のゴミを拾いました。

集めたゴミは学校に持ち帰り、美化委員と環境委員が中心となって分別をしました。今年度は、「14.5キログラム」のゴミを拾い、私たちの住むまちの美化に繋がりました。

地域清掃は、地域の方や保護者の方にも参加していただきます。地域の方などと一緒に活動することで、よりよいまちづくりに向けて子供たちの意識が高まることを期待しています。



村山デエダラまつり

まちづくり学習

11月9日(土)・10日(日)に、2年ぶりの開催となった第16回村山デエダラまつりが開催されました。当日は、ステーションや出店ブースで各校の児童・生徒が取り組んでいる「まちづくり学習」の発表を行いました。



第九小学校の子供たちは、「武蔵村山市をもっともっと盛り上げていきたい」という願いをもち、村山デエダラまつりで活躍しました。

3年生は、会場にご当地キャラクターやデエダラボッチを描いたオブジェと灯籠を飾り、6年生は村山大島袖の飾りをつけたTシャツを着て、ファッションショーに出演しました。



雷塚小学校では、ゼロカーボンシティチャレンジ校の取組として、5年生はフードロスについて、環境委員は巻き芯や使用済みノートの回収活動について舞台発表しました。

また、環境フェスタのブースでは、各学年の取り組みについてパネルで発表しました。

7日間でどれだけCO2を削減できた？ ～夏休みの宿題(CO2削減アクション月間チェックシート)を通して～

<説明>

本中では、東京都教育委員会から発行されている「CO2削減アクション月間チェックシート」を夏休みの宿題として取り組みました。内容としては、夏休み中の好きな7日間の食生活や行動を記録し、そのCO2削減量を計算し、振り返りを行いました。下のグラフがその結果です。

項目	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計
CO2削減量



第三中学校では、ゼロカーボン学習についての取組「ゼロカーボンとは何か」、「夏休みの七日間での実際に取り組んだ成果」、「各学年での取組」を発表しました。

栄ふるさと太鼓
心地よい響きを
ステイジから
轟かせました



第八小学校では、「ふれっチャクラブ」のバトンクラブがパフォーマンスを行いました。バトンを使った技の紹介やダンスパフォーマンスを披露しました。

第一小学校では、「大事に世話をしているヤギを紹介して武蔵村山市にもっと知ってもらおう。」と、杉の子学級の児童が中心となって、ヤギTシャツを販売しました。

Tシャツのデザイン、イラスト、お店の看板、PRビデオも児童が作りました。まつりの会場では看板をもって営業にまわり、「いらっしゃいませ！」とお客さんに声をかけ、売り切れになるほど大盛況でした。販売の苦労と喜びを体験しました。



第十小学校・第五中学校・武蔵村山高校は近接しており、日頃から連携を密にしています。

3校の代表児童・生徒が一堂に会し、まちづくりについて意見を交わしました。

それぞれの目線から提案されるまちづくりのアイデアはどれもすばらしく、夢や希望が広がる素敵なサミットとなりました。



第三小学校では、ダンスクラブが「マイボトルダンス」を披露しました。

また、環境フェスタのテントでは、東京チェーンソーと協力をして、端材を利用したぶんぶんゴマを作成するワークショップを開催しました。用意していた100個のコマは、あっという間に完売しました。

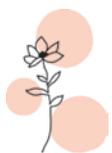
りんごの棚が できました

「りんごの棚」とは、障がいの有無に関わらず、すべての子どもに読書の喜びを届けるため、バリアフリーに配慮した様々な資料を集めたコーナーです。

1993年にスウェーデンの図書館で始まり、世界各地に広がっています。

名前の由来は、特別な配慮を必要とする子どものために作られたおもちゃからきています。

こちらで紹介している資料は、どなたでもご利用できますので、手に取ってご覧ください。



《おめでとうございます》

令和6年度全国公共図書館 協議会表彰を受賞

公共図書館の事業に尽力し、その功績顕著な者として、図書館職員の浅野裕美さんが受賞しました。

主な図書の紹介

■LLブック

スウェーデンで生まれた読みやすい本です。短い文章と、写真や絵、ピクトグラムで構成されています。

LLブックの"LL"は、スウェーデン語の"LättLäst（やさしく読める）"の略語です。

■点字の本

触って読む文字（点字）で書かれた本です。中には、図形や絵に凹凸が付いており、指先で触れて形などを確かめることができるような本もあります。

■大活字本

大きな文字が印刷された本です。

■布絵本

布でつくられた絵本です。貼ってはがせるマジックテープなど、手で触って楽しめる仕掛けがついたものもあります。

雷塚図書館

☎042-564-1284



雷塚図書館では、9月にヤングアダルト（Y・A）の本（※大人になりつつある世代を対象にした本）、10月にバリアフリーの本を集めて、企画展示を行いました。

各図書館で様々な企画展示を行っていますのでお立ち寄りください。

巳（へび）年におすすめ！ 巳・蛇・へび・へびの本

『へびながすぎる』（ふくながじゅん ぺい作 こぐま社）

動物たちが長いへびをそれとは気が付かず楽しく遊んでいます。ねずみは滑り台、うさぎは縄跳び、ゴリラはさらに……。やがて動物たちは思います。この縄は何だろうと。結末で、さらにびっくりできる楽しい絵本です。

『へびのしっぽ』（二宮由紀子 作 荒井良二 絵 草土文化）

へびのしっぽは、友達をつくらうと、いろいろな生き物に話しかけます。でも、へびの頭が勝手に進むので、なかなか友達はできません。そこで、へびのしっぽは考えます。

『へびのクリクター』（トミー・ウン グラー 作 中野完二 訳 文化出版局）

ポドさんは、息子から贈られたへびをクリクターと名付けて、大切に育てます。やがて大きく強くなったクリクターは、子どもたちにも大人気。クリクターが大活躍する楽しい絵本。

『こねこのポックとへびのパク』（谷真介 作 赤坂三好 絵 偕成社）

こねこのポックは、なんでも博士に、へびのお人形を作ってもらい、ニョロと名付けました。博士は、ニョロを話ができるように直しましたが、たいへんなことに！

『へびとトカゲ きょうからともだち』（ジョイ・カウリー 作 ガヴィン・ビショップ 絵 もりうちすみこ 訳 アリス館）

ある冬の日に出会ったへびとトカゲですが、ささいなことでケンカになってしまいます。ところが、それがきっかけで、二匹は「ともだち」になりました。気が合うような合わないような、二匹のやりとりが楽しい短編集です。

『へびのレストラン』（深見春夫 作 P H P 研究所）

へびのレストランは、お客が料理を作るかわったお店。ある日、ブタがやってくる、かこの野菜におまじないをかけてと言われ……。歌って、踊って、笑って作る、不思議なお店のおかしな料理。



資料館からのお知らせ



企画展「武蔵村山の戦跡」 12月7日(土)～令和7年3月30日(日) 9:00～17:00

令和7年(2025)で戦後80周年を迎えます。北多摩は軍都(軍事都市)立川市を中心に陸軍航空戦力の研究・開発製造の一大拠点となり、武蔵村山市域にも戦争時に造られた施設等があります。

資料館
本館

これらの戦跡(戦争遺跡)は、当時を視覚的に知ることができる貴重な文化財です。

本展では、市域に残る戦跡と戦時中の様子を紹介します。武蔵村山市の地域史という身近な歴史から戦争について学んでみませんか。

歴史講座 令和7年2月15日(土)定員50名(先着順)

「残された史料から見る武蔵村山の戦跡」 14:00～16:00 講師 多田仁一氏 (武蔵村山市文化財保護審議会委員)

武蔵村山市には市史編さん事業等で収集された多くの史料があります。戦後80周年を迎えるにあたり、改めて市内に残された戦時中・戦後の史料や記録をもとに、本講座ではアジア・太平洋戦争終結に至る歴史のなかで、当時の出来事や人々の生活をひもときながら、武蔵村山市の戦後のあゆみについて紹介します。

中部地区
会館
401
大集会室

《問合せ》歴史民俗資料館 042-560-6620

※毎月第1月曜日、第3水曜日及び年末年始(12月28日から1月3日まで)は休館日です。



生涯学習フェスティバル 開会式の様子

令和7年「20歳を祝う会」 HP 1005869

式典(代表者の誓いの言葉など)とアトラクションの2部構成で行います。一生に一度しか参加できないイベントに、ぜひご参加ください。



- ▶日時: 1月13日(月・祝)
午前11時～午後0時30分
(受付午前10時30分～)
- ▶場所: さくらホール(市民会館)大ホール
- ▶対象: 平成16年4月2日から
平成17年4月1日に生まれた
市内在住のかた等

※対象者のかたには、12月上旬にご案内のはがきを送りしております。



ペーパークラフトのかごを手作りしました

12月1日(日)に、市役所駐車場・市民会館にて第27回生涯学習フェスティバルを開催しました。

生涯学習フェスティバルは、市民の皆さんが身に付けている技術を提供していただくことで、子供から大人までが体験・学習しながら交流を図る催しです。

当日は、舞台出演や、体験コーナーなどに、大勢の方にご来場いただき、楽しく充実したイベントとなりました。

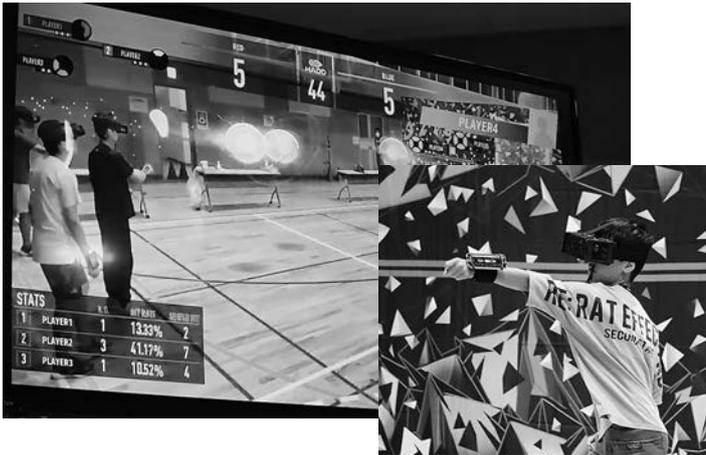
技術提供をいただいた地域の皆様、フェスティバルの運営をお手伝いしていただきました皆様、ありがとうございました。

生涯学習フェスティバルを
開催しました

**スポーツ都市宣言記念事業
「いきいきわくわくスポーツ教室」
開催!**

10月13日(日)に総合体育館第一体育室で「武蔵村山市スポーツ都市宣言」の10周年を記念し、新しいスポーツジャンルであるARスポーツ「HADO」の体験会を開催しました。

子供から大人まで幅広い世代の方が参加し、3対3の対戦形式で熱戦を繰り広げました。



**第41回少年少女
サッカー大会を開催しました**

11月16日(土)に総合運動公園第1・2運動場で第41回少年少女サッカー大会が開催され、市内の各小学校から集まった4年生から6年生までの男女19チームが熱戦を繰り広げました。

試合は、男子の部15チーム・予選リーグ、決勝トーナメント戦、女子の部4チーム・リーグ戦により行われ、男子の部は「七小 アボース」、女子の部は「十小 グロリアス」が優勝しました。

各部門の入賞チームは表のとおりです。

区分	男子の部
優勝	七小 アボース
準優勝	三小 ぼくたち一年生!
第三位	一小 パイナポー
	雷塚 フェニックス光
区分	女子の部
優勝	十小 グロリアス
準優勝	雷塚 プロジェリー
第三位	三小 丘の上女子
第四位	十小 ブライトムーン

**第51回市民駅伝競走大会
〜全88チームが力走〜**

12月8日(日)に市民駅伝競走大会が、総合体育館前をスタート・ゴールとする14・75km、6区間のコースで開催されました。

第51回目の開催となる今大会も姉妹都市である長野県栄村からの2チームを含む特別参加が8チーム、一般の部42チーム、地域の部10チーム、女子の部5チーム、中学生男子の部6チーム、中学生女子の部5チーム、小学生男子の部9チーム、



小学生女子の部3チームが参加し、大勢のランナーが俊足を披露し、襷を繋ぎました。

今回も、昨年に引き続き青梅街道を走るコースでの開催となり、沿道からたくさんの方の応援を受けたランナー達は元気な走りを見せ、盛況のうちを終了しました。

各部門の優勝チーム及びタイムは表のとおりです。

(市HP:1010008)

【各部門優勝チーム】

部門	チーム名	タイム
一般の部	村山ジョニーズ	52分17秒
地域の部	谷津ランナーズA	56分55秒
女子の部	感染研女子A	1時間11分08秒
中学生男子の部	五中陸上部	53分40秒
中学生女子の部	五中陸上部A	1時間04分47秒
小学生男子の部	一小ダイナマイト	1時間03分13秒
小学生女子の部	ミニバス翼	1時間05分53秒

ALT Column

Before returning to work after a long summer vacation, some ALTs enjoyed the Noryo Fireworks Festival at Noyama Kita Park Sports Field on August 24th.

Despite being small, it still was a fun and busy festival. There were performances on the stage all day long, allowing us to enjoy everything from hip-hop dance to even kickboxing and karate shows.

Usually, we only see live music at festivals, so it was so interesting to see dancing and parts of Japanese culture instead! Surrounding the venue were various stalls of food and games. Instead of the usual festival foods from Washington or California like corn dogs and deep-fried food, there was yakisoba and grilled meat skewers. The saucy yakisoba was so delicious and gave us so much energy to enjoy the festival.

During the fireworks, we were in awe of the beautiful colors lightning up the night sky. We have fireworks at the end of festivals back home too, but here, the community of Musashi-Murayama made it feel so special. Everyone was so cheerful and kind to us, and many of our students even came up to talk. Even though the night ended in rain, this festival was still the perfect way to finish out summer vacation.

長い夏休みから勤務に戻る前に、私たち ALT は8月24日に開催された野山北公園の観光納涼花火大会を楽しみました。

小さいながらもとても楽しくにぎやかなお祭りでした。ステージではヒップホップダンス、キックボクシングや空手に至るまで、絶え間ないパフォーマンスで楽しませてくれていました。普段、お祭りという音楽のライブのみなので、日本の文化やダンスを見られることはとても興味深いものでした。会場の周りは、食べ物やゲームの屋台で囲まれていました。ワシントン州やカリフォルニア州のアメリカンドッグや揚げ物など、よくあるお祭りの食べ物の代わりに、焼きそばや焼き鳥といったものがありました。ソースたっぷりの焼きそばはとてもおいしく、さらにお祭りを楽しむエネルギーとなりました。

花火の上がっている間、私たちは夜空を飾るその色の美しさに畏敬の念を抱いていました。私の故郷でもお祭りの終わりに花火が上がることがありますが、ここでは武蔵村山の地元の方々のおかげで特別に感じました。皆さん、明るく優しく接して下さり、たくさん生徒たちが声をかけてくれました。その夜は雨に降られて終わりましたが、夏休みの最後を飾るのに最高のお祭りとなりました。



教育長・教育委員の動き（10月～12月）

- 10月 4日（金） 中学生・市長・教育長まちづくり意見交換会
- 10月 8日（火） 東京都町村教育委員会連合会第1回研修会
- 10月 9日（水） 東京都教育長会
- 10月13日（日） 令和6年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業 いきいきわくわくスポーツ教室
開会式・閉会式
- 10月16日（水） 小中一貫教育の日
- 10月18日（金） 第10回教育委員会定例会
- 10月20日（日） 第19回地区ふれあいスポレク大会
- 10月24日（木） 教育委員定例学校訪問
- 10月31日（木） 東京都町村教育委員会連合会
第3ブロック研修会
- 11月 2日（土） 第55回市民文化祭 開会式
- 11月 3日（日） 自治功労者・一般表彰者表彰式
- 11月 9日（土） 第16回村山デエダラまつり開会式
- 11月15日（金） 第11回教育委員会定例会

- 11月16日（土） 令和6年度少年少女スポーツ大会第41回
少年少女サッカー大会 開会式・閉会式
- 11月22日（金） 特色ある学校づくり推進校発表会
- 11月29日（金） 第一小学校開校110周年記念式典
- 12月 1日（日） 第27回武蔵村山市生涯学習フェスティバル
開会式
- 12月 8日（日） 第51回武蔵村山市民駅伝競走大会
- 12月20日（金） 第12回教育委員会定例会
- 12月27日（金） 令和6年仕事納め式

教育委員会提出議案（9月～11月）

提出議案5件（うち可決された議案5件）

主な可決議案

・武蔵村山市立学校の令和7年度入学式及び卒業証書授与式の日程について

詳しくは、市ホームページ [HP 1000824](http://www.city-murayama.lg.jp) をご覧ください。

令和7年1月～3月 主な教育委員会関係事業予定

事業名	開催日	場所	対象者等	問合せ先
令和7年「20歳を祝う会」	1/13（月・祝）	さくらホール （市民会館）	平成16年4月2日～ 平成17年4月1日生まれの市民等	文化振興課
第13回小中学生百人一首大会	1/19（日）	総合体育館 第2・第3体育室	小・中学生	文化振興課
第22回少年少女ドッジボール大会	2/1（土）	総合体育館	市内小学生（3年生以上）	スポーツ 振興課

「教育むさしむらやま」へのご意見・ご感想をお寄せください。

